



NO.18

平成20年11月1日

ふくろい

市議会 だより

02
ページ

9月定例会等の概要

04
ページ

市政に対する一般質問

12
ページ

委員会レポート



カッコよく決まったね。

10月4日、浅羽北幼稚園で運動会が行われ、年長さんが日頃の練習の成果を披露しました。当日は、さわやかな秋晴れのもとたくさんのギャラリーが訪れ、園児たちに声援を送っていました。

9月定例会

一般会計など12会計の すべての決算を認定

平成20年9月定例会は、9月2日から9月24日までの23日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成20年度一般会計ほか3会計の補正予算をはじめ、平成19年度一般・特別企業の各会計決算認定、袋井市立図書館統合システム一式売買契約の締結、財産の譲与・取得など24議案と3件の報告、議員提出の3議案が上程され、採決の結果、いずれも原案どおり可決・認定されました。

なお、市政に対する一般質問は、16人の議員が市長の見解をたしました。

会計名	予算額	歳入決算額	歳出決算額	残額	
一般会計	286億3,482万円	283億6,311万円	278億7,345万円	4億8,966万円	
特別会計	土地取得	3億7,000万円	1億5,160万円	1億4,853万円	307万円
	国民健康保険	69億8,832万円	69億5,338万円	68億8,364万円	6,974万円
	老人保健	55億9,704万円	53億1,818万円	53億8,957万円	7,139万円
	介護保険	39億3,881万円	39億2,443万円	38億7,248万円	5,195万円
	簡易水道事業	1億6,090万円	1億6,013万円	1億5,570万円	443万円
	公共下水道事業	28億8,290万円	27億6,764万円	27億0,956万円	5,808万円
	農業集落排水事業	2,020万円	2,077万円	1,955万円	122万円
	駐車場事業	8,455万円	8,493万円	7,582万円	911万円
	訪問看護事業	2,880万円	3,048万円	2,425万円	623万円

老人保健特別会計の歳入が歳出に不足する額は、次年度予算から繰上充用を行い補てんしました。歳入歳出の残額については、次年度の歳入に編入されます。

会計名		予算額	決算額	
企業会計	水道事業	収益的収支	事業収益 14億3,900万円	14億5,568万円
			事業費用 14億3,900万円	14億3,034万円
		資本的収支	資本的収入 1億5,600万円	1億2,393万円
			資本的支出 7億8,771万円	7億4,153万円
	病院事業	収益的収支	事業収益 62億6,668万円	56億9,427万円
			事業費用 64億6,600万円	59億6,592万円
		資本的収支	資本的収入 8,528万円	8,528万円
			資本的支出 9億6,242万円	9億3,959万円

水道事業会計・病院事業会計とも、資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

一般会計については、286億3,482万円の予算に対して、決算額は、歳入が283億6,311万円、歳出が278億7,345万円となりました。決算額の執行率は、予算対比で歳入が99.1%、歳出は97.3%でした。

平成19年度各会計別決算状況



9月18日に行われたメロープラザの起工式

一般会計補正予算

今回の補正予算は、主に次に掲げる事業のために10億7,000万円を増額するものです。これにより、平成20年度予算総額は295億2,000万円となりました。

農業施設環境対策代替エネルギー導入事業補助金
(1,200万円)

石油系燃料のボイラーから木質ペレットボイラーやヒートポンプなどの代替エネルギー施設への転換に対する補助金です。

(仮称)大日ほたるの里公園整備事業(1億5,506万円)

公園事業の進捗を図るため、土地購入費を補正するものです。

山梨幼稚園建設事業(6億4,200万円)

建設事業の進捗を図るため、土地購入費を補正するものです。

8月臨時会

平成20年8月臨時会は、8月21日に開催されました。上程された議案は次のとおりです。

平成20年度袋井市一般会計補正予算(第2号)について… **可決**

法人市民税減額の更正申告により、市税の還付金を1億500万円増額するもので、これにより、平成20年度の予算総額は284億5,000万円となるものです。

工事請負契約の締結について… **可決**

メロープラザ新築工事に伴い建築工事、電気設備工事、機械設備工事の入札が行われ、請負事業者が決定しましたので、契約するものです。

契約者	建築工事	丸明・鈴木工務店特定建設工事共同企業体	契約額	12億3,900万円
	電気設備工事	(株)朋電舎西部営業所	契約額	1億9,740万円
	機械設備工事	菱和設備(株)浜松支店	契約額	2億7,195万円

鈴木 妙子 議員

子どもの読書環境の整備は十分か

Q 問 保育所、幼稚園、子育て支援センターにおける図書の充実と読み聞かせの推進状況はどうか。

A 答 保育所・幼稚園では、先生をはじめ保護者、地域ボランティア、図書館司書による読み聞かせを行っている。子育て支援センターにおいても、読書、図書環境の充実を図っている。

Q 問 小中学校における朝の読書運動の実施状況と、その効果はどうか。

A 答 全小中学校において、朝の読書活動を実施している。教師やボランティアによる読み聞かせにより、子どもたちの語彙(ごい)が豊かになり様々な言い回しが身につくとともに、思考力、表現力、想像力が向上する等の効果が認められる。

粗大ごみの収集・運搬
についての対策を

Q 問 自己搬入が困難な方に対し、どのような対策を考えているか。

A 答 近隣市の戸別回収システムを参考にしながら、その対策を検討していきたい。



幼稚園で行われている読み聞かせ

寺井 雄二 議員

悪臭問題...地域住民へこの10年間の様に環境配慮がなされてきたか

Q 問 家畜排せつ物の利用促進を図る基本方針の推進状況について、最終年度であるが、悪臭問題は進んだのか。

A 答 悪臭問題の解決に努めているが、効果は十分とはいえない。今後、事業者へは、勧告の発動なども視野に入れ指導していきたい。

県道中野諸井線(富里中地域)の改良工事の取り組みは

Q 問 改良工事の取り組みに市と地元との話し合いは、今後どのように進めていくのか。

A 答 県では、ルートを選定等について、地元の方々と意見調整を行い、事業を推進していく。市も実現に向けての調整、支援を行う。

老人クラブ連合会事務局への
人件費の支援は出来ないか

Q 問 老人クラブ連合会の活性化を図るために事務局体制を強固にするように市として支援はできないか。

A 答 市からの補助金の有効活用が基本であるが、社会福祉協議会とも連携し、可能な限りの支援を行う。



道路が狭く改善が望まれる県道中野諸井線

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを目指して



伊豫田 貞雄 議員

市長の政治姿勢

Q 問 新市初代市長として、7項目の公約をしたが、その総括は。また、来年4月執行の市長選挙への意志は。

A 答 これまで、7つの言葉を掲げ取り組んできた。しかし、現在進行中の事業、これから取り組まなければならない事業もあることも承知している。今後は、明るい希望に満ちた袋井市の実現のために、引き続き市政の陣頭指揮をとらせてもらいたいと考えている。

債権対策

Q 問 税、負担金の滞納整理に対し、市の対応策は。

A 答 全庁体制による市税等収納対策本部を設置し、個別訪問による滞納整理に取り組む。

高橋 美博 議員

「心の病」を抱える職員がふえているが、対策に万全を期すべきではないか

Q 問 本市での「心の病」を抱える職員数、それによる休職者数はどうか。

A 答 平成20年度、心の病による病気休暇を取得した職員は7名である。その内、4名は既に復帰している。

Q 問 その原因をどうとらえているか。

A 答 業務の複雑、多様化等により、精神的ストレスや健康問題を抱えると考え。今後も職場内のストレス解消に向けて、さらに原因究明を行い、その対策に取り組んでいきたい。

Q 問 市が借地している土地を取得するか、処理するか、考えは。

A 答 用地の取得について施設ごと地権者と交渉しているところもある。借地状況の精査や取得の必要性について十分検討していきたい。



市が借地をしている愛野駅南駐車場

Q 問 メンタルヘルス講習等、対策の効果はどうか。

A 答 研修や診断、さらにカウンセリング事業を行うなど日ごろから職員の心のケアに取り組んでいる。また、職員が精神的な病気で療養を必要とした場合、上司から聞き取りを行い、本人の症状が回復するための環境づくりに鋭意努めているところである。心の病は当市にとっても大変重要な問題であるので可能な限り予防対策を考えていきたい。



市役所の1階フロア

広岡 宥樹 議員

地球温暖化防止への 思い切った取り組みを

Q 問 国、財界が経済原理にこだわる状況の下で、地方が国際機関の警告を重く受けとめ、地方として最大限の努力をすることが求められているが、どう受け止めているか。

A 答 現在、袋井市環境基本計画の策定作業を進めている。その中に行政として実効性のある施策を取り入れていきたい。

Q 問 袋井市における二酸化炭素の排出量、吸収能力の数値目標は持てるか。

A 答 排出量の削減目標数値については、袋井市環境基本計画の中で設定していく。また、森林、農地や里山の保全などにより、緑化を推進する。

学校図書館司書の全校配置を

Q 問 学校司書(図書館サポーター)配置(現在4人)についてのこれまでの評価と全校配置の考えはどうか。

A 答 図書館サポーターによる活動は読書活動推進に有効に機能している。図書館司書は、市単独措置でしか雇用できない状況であるが、1人でも2人でも増員できるように全力で取り組んでいきたい。



「緑と太陽と親子の集い」で行われた温暖化防止キャンペーン

戸塚 文彦 議員

平日夜間一次救急医療の 今後の見通しは

Q 問 掛川市では、センター化し、来年度から急患センターを開設するが、そのような検討を当市でもすべきでは。

A 答 袋井市・掛川市新病院建設協議会の協議結果を含め関係機関と十分な協議を行い、よりよい方向性を検討していきたい。

ゲリラ豪雨対策は

Q 問 避難勧告・指示は、どのタイミングで決断し、どういう方法で住民に的確に伝えるか。

A 答 的確な発令ができるよう警戒態勢を強化していきたい。住民への伝達方法としては同報無線、広報車による広報、電話により連絡を行うこととしている。また、他の情報媒体も活用していきたい。

豊沢地区開発の事業見通しは

Q 問 計画されて以来、地権者に一度も状況説明会を実施していないが、その理由は。

A 答 説明会を行うに当たり、一步でも進んだ報告ができるよう努力してきたが、いい結果が得られず現在に至っている。近々のうちに状況説明をしていきたい。



洪水ハザードマップ

大庭 通嘉 議員

病院建設の財政準備は

Q 問 病院建設の財政準備は。

A 答 病院の費用は300億円、うち袋井市分を150億円と見通している。掛川市との協議後、基金の創設も含め検討に入りたい。

新袋井警察署設置後の対応は

Q 問 新袋井警察署の建設規模と設置後の交番体制は。

A 答 規模は地上4階建て、延べ床面積3,000㎡、23年4月開署予定。現袋井交番の廃止もJR愛野交番新設も現段階では予定されていないが、市として愛野駅前用地を確保し、早期の設置を要望している。

合併処理浄化槽問題

Q 問 合併処理浄化槽と公共下水道では設置費用や利用料金に差があり、改善すべきではないか。

A 答 現行制度では指摘のとおり差が出ている。負担の公平性に向けた対応が必要。浄化槽清掃料金等、業者と話し合いの場を持ちたい。



袋井警察署建設予定地(市役所東側)

浅田 二郎 議員

どうする都市計画税

Q 問 都市計画税統一への検討の進捗状況と今後の対応は。

A 答 検討懇話会を、3回開催した。この税の共通認識を深め、質問や意見を聞いている。年内中に意見をまとめてもらい、この意見をもとに統一案を決定していきたい。

どのような費用に充てるのか

Q 問 目的税であるが、浅羽地域のどのような都市計画事業に充てるのか。

A 答 袋井地域では、街路事業、下水道事業、土地区画整理事業を実施してきた。新市では、地域の区別なく総合計画に定める都市計画事業に充てていきたい。

課税対象区域をどうする

Q 問 地方税法では、市街化区域への課税が原則となっている。全市を対象とする合理性がないが、課税区域をどう考えているか。

A 答 旧袋井との均衡を図る観点で区域の決定をしていくべきと考えているが、懇話会の検討結果を待って判断したい。



下水道処理施設「アクアパークあさば」

兼子 春治 議員

認可外保育所への支援は

Q 問 待機児童の解消策として、認可外保育所への紹介とあっせんに努め、補助金の増額を図るべきでは。

A 答 園児募集案内を広報誌などへ掲載するとともに、入所の紹介などもしている。
低年齢児の保育所入所枠を確保するため、さらなる支援も必要であると考えている。

企業立地の促進を

Q 問 川井地区の工業地域の振興策は。また、中小企業の立地促進のために開発行為事務処理要領の見直しを。

A 答 川井西地区まちづくり整備検討委員会が設立され、事業手法の検討を進めている。
開発許可は無秩序な開発防止を図るべくその適用について慎重に対応している。

徳育推進の基本的考えは

Q 問 規範意識の向上を図るための徳育推進策は。

A 答 スローガンや具体的な行動目標を袋井モデルとして構築できればと考えている。



市内にある認可外保育所

芝田 禮二 議員

障がい者に対する施設の充実を図るべきでは

Q 問 袋井市にもケアホームやグループホームなどの福祉施設を整備し障がい者に安心して過ごせる社会にすべきと考えるが。

A 答 福祉施設については、第2期の障害福祉計画の中で位置づけをしていきたい。

旧クリーンセンター跡地を「エコのまち」の情報発信基地としては

Q 問 バイオマスタウン構想の一環として「エコのまちふくろい」の学習創造の場として利用し、国の助成で旧施設の解体費用の軽減を図るべきでは。

A 答 環境教育・学習の場や他の利用などを含めて、今後検討していく。
解体費用については、国の助成制度の活用もあわせて研究をしていきたい。

乳幼児医療費の軽減を

Q 問 就学前医療費助成を小学校卒業まで延長できないか。

A 答 実施する場合には、相当な財源が必要である。予算措置、財政状況等を勘案しながら考えていきたい。



旧クリーンセンター

竹原 和義 議員

クラウンメロンの販売戦略は

Q 問 行政のバックアップで、トヨタクラウン購入者へ抽選で、「品評会優等メロン」を6名に贈呈する案は。

A 答 話題になりそうな提案である。話題づくりや、マスメディアを活用することは現代において必要なことであると考えている。

洪水対策はどうなっているか

Q 問 長溝管内、原野谷川左岸堤防の崩落原因調査と洪水要因としての「浸透破堤」調査実施について。

A 答 袋井土木事務所で早急に整形補修等の対応をすると聞いている。浸透破堤調査については、今後の経過を観察し、必要に応じて地質調査も実施していくと聞いている。

(通称)七曲がりの道路計画はどうか

Q 問 磐田掛川線(通称)七曲がりの「現道拡幅・バイパス」全ての地権者承諾、同意等は得られているか。

A 答 現道の拡幅、バイパス工事、いずれも地権者全員の同意は十分に得られていない。



整形補修された崩落箇所

廣岡 英一 議員

市政の柱のひとつである「官民協働まちづくり」の推進を

Q 問 平成18年3月の「協働への扉」は指針である。事業計画を策定すべきではな

A 答 事業計画の策定については、今後先進事例を参考にしながら、袋井市らしさを研究していきたい。

Q 問 現在の協働まちづくり事業は、市民活動の域を脱し得ない。市は、積極的に協働モデル事業を実施すべきと思うがどうか。

A 答 モデル事業の実施については、19年度から開設した公募提案型の協働まちづくり事業において展開をしているところである。

「健康文化都市」がよくわかる市政運営のために

Q 問 事務事業を羅列した総合計画からは、

健康文化都市の姿が見えにくい。政策から個別事業に至る施策体系が必要ではないか。

A 答 総合計画では、日本一健康文化都市の理念のもと、まちの将来像やまちづくりの基本目標を定め、市民や地域、企業等が目標を共有化して相互に連携協働し、政策を推進している。

それとともに、政策・施策・事務事業が、目的と手段の連鎖構造で成り立っており、施策体系ごとに目的や基本方針、指標を定め、総合的かつ計画的なまちづくりを進めている。



「体を使って貯筋！健康教室」を受講している皆さん

高木 清隆 議員

農産物の販路拡大に向けた取り組みをすべきでは

Q 問 農産物の販売促進に向けた販売戦略に対し、行政サイドの積極的な介入が必要と考えるがどうか。

A 答 特産品の販売戦略については、各振興協議会や袋井市農業振興会の取り組みに対し支援していきたい。また、産学官連携による袋井市産業イノベーション事業も積極的に活用できたらと考えている。

Q 問 近年のアグリニクスの動向を行政としてどうとらえているのか。

A 答 アグリビジネスは、企業的な経営感覚を必要とし、効率的な農業経営や規模の拡大において生産以外の総合的かつ先進的な経営がより重要になると認識している。

子育て世代の負担軽減、親世代の高齢化に伴う生活不安の解消を

Q 問 親元近居支援制度の創設を提案するがどうか。

A 答 親元近くへの居住支援は安心して生活できる環境整備につながる。今後、国が全国展開しようとしている高齢者の住みかえ支援制度にあわせ研究し、実行できるものは実行していきたいと考えている。



クラウンメロン支所の出荷の様子

大場 正昭 議員

市民の声から

Q 問 (仮称)市営墓地公園整備事業の今後のスケジュールと課題、問題点は何か。

A 答 市営墓地の実現に向けては、地域の受け入れが一番大きな問題となる。最終的な整備の完了は、23年度を目途に最大限の努力をしていきたいと考えている。

Q 問 自主運行バスの三川地区幕ヶ谷地域への乗り入れを要望するがどうか。

A 答 客観的で詳細な交通地域の需要把握と自主運行バスの現状認識等を目的として、本年8月に「交通実態調査」アンケートを行い、現在分析している。今後、このアンケート結果等を参考に、自主運行バスのあり方について抜本的に検討した上で結論を出したいと考えている。

Q 問 先生方の負担軽減のため、中学校部活動への専門的な指導者の派遣、外部コーチの招聘(しょうへい)について、拡大・充実を望むがどうか。

A 答 指導に当たる方々の労苦に報いるだけの条件整備も十分に考慮する必要がある。こうした課題の解決方法を探りつつも、今後も各学校の必要度を的確に把握した上で、すぐれた指導者の人材発掘に努めていきたいと考えている。



周南中学校吹奏楽部の活動の様子

寺井 紗知子 議員

平和都市宣言をしませんか

Q 問 6月1日現在、全国で平和都市宣言をしている自治体は77.8%にもなりました。住民の安全を守るのは自治体の責務です。宣言をすることについてのお考えは。

A 答 非核平和宣言は必要だと思うが、市が主導するより、市民の意識の醸成した時期や機会をとらえて行うほうが良いと考えている。

ジャンボタニシが繁殖しています

Q 問 市内の水稻被害の状況と駆除対策は。

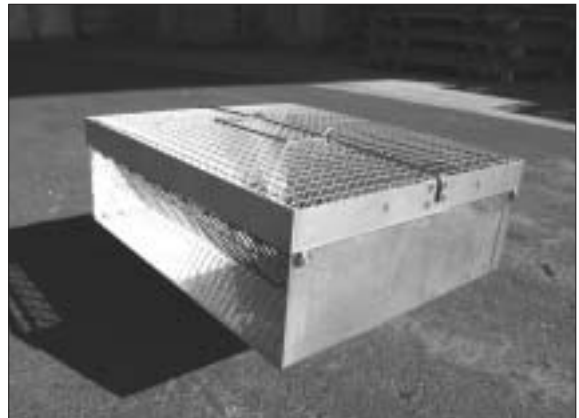
A 答 19年度に農業共済組合へ出された市内の被害届は、梅山地区で1件18アールであった。このほか松原、大野など袋井南部地域で生息が確認されている。ジャンボ

タニシの食害対策は、冬季のロータリー耕うん機による物理的破碎、田植え時の駆除、農薬の投与等を推奨している。

地上デジタルテレビ放送への移行について

Q 問 低所得者などの世帯に対して、アンテナ設置費用を補助するお考えは。

A 答 国の支援策の動向を注視していきたい。また、必要な支援策を国に要望していきたい。



ジャンボタニシの駆除に使われる「ジャンボトラップ」

村松 尚 議員

久野城址の公園整備についてどのように進めるのか

Q 問 計画を地元自治会、住民、保存会へ説明するべきと思うがどうか。

A 答 久野城址保存会や地元自治会に対し、遊水池までを含めた整備計画の全体像を説明する機会を早急に設けたい。

Q 問 公園南側の遊水池整備は治水効果の点で疑問があるがどうか。

A 答 遊水池は、雨水流出を抑制する点で調整池同様の働きと効果が期待される。城址公園に隣接するため、人工的な調整池方式よりも、自然な景観と動植物の育成環境が維持できる遊水池方式のほうがよいと考えている。

原油値上がりに対応して農業分野への支援についてどう考えるのか

Q 問 重油以外の暖房施設導入に対する財政支援はどうか。

A 答 すべての農家を対象に、木質ペレットやヒートポンプ等の代替エネルギーに転換する際の施設整備費に対し、10分の1(上限80万円)を補助するため、9月議会の補正予算として1,200万円(15件分)計上した。ことしの冬期作付けに間に合うよう議会の承認を得て、10月1日から対応したい。



久野城址

レポ ー ト

9月定例会における常任委員会は、9月11、12日に開催され、各議案の審査等を行いました。

また、最近開催された特別委員会での主な内容は、P.13下段のとおりです。

山梨幼稚園建設に伴う春岡土地区画整理事業の計画変更の手続きの状況はどうか。また、建設予定地は高低差があるが支障はないか。

総務文教
委員会

現在、県と春岡土地区画整理組合とで協議しており、10月には、区画の形態が確定する予定である。また、用地の高低差を有効に活用できるように設計について検討する。

通学合宿は、子どもたちが親元を離れ、宿泊所となる公民館等から通学する。子供たちの社会性や自主性などを培うのに効果的であるが、市として今後の取り組みはどうか。

総務文教
委員会

通学合宿は、県事業であるため、主催者側の各種育成団体と県との間で申請手続き等を行っている。有意義な事業であるため、今後、市も積極的に係わり地域に広がっていくよう努める。

弁護士による市民法律相談の予約が取りにくいとの声があるが、どのような状況か。

民生福祉
委員会

市民法律相談は、1週間前に予約を開始し、先着順で受け付けている。1人当たり30分を単位に、1日6人を適正な相談者数として弁護士に相談を受けてもらっている。この枠がすぐに埋まり、次の機会をご案内することも多いので、現在、もう少し枠をふやせないか研究している。

出産祝のメロン引換券のうち、実際に引き替えられたのは711件とのこと。引き替えられていないものについて、どう考えているのか。

民生福祉
委員会



出産祝として贈呈されているメロン

半年以内を目途に引き替えていただけるようお願いしているが、中には、おいしいメロンを生まれた子供に食べさせたいという親心から、離乳時期まで引き替えを延ばす方もいるようである。出生数約900に対する残りの200は、半年間を猶予期間ととらえている方たちだと考えている。



委員会



統合された簡易水道の笠原水源

来年度から上水道の中へ組み入れていく考えている。水道料金は、21年度統一すべきであるが、平成22年4月から上水道料金を一元化すべき作業を進めている。21年度は1市3制度で対応し、22年度から全市統一料金とする予定で進めている。

私設簡易水道が公営の簡易水道に統合されたが、上水道との統合の時期はいつ頃になるか。水道料金をどのようにしていくか。

建設経済委員会

現在の公設市民農園については需給のバランスがとれていると判断する。将来的にはニーズが高まっていくと思うが、民間の協力をいただいた中で農園の充実を図っていききたい。

市民農園は、将来需要がふえてくると思うが、現在の66区画で需要が満たされているのか。

建設経済委員会

袋井市民病院問題 特別委員会より (9/19開催)

第7回掛川市・袋井市新病院建設協議会(8/7開催)で建設候補地8箇所が示され、次回以降に継続協議となった旨、当局から報告があった。

これを受け、第8回の協議会(10/3)に臨むにあたり、建設候補地については「人口重心点付近の小笠山総合運動公園内を主張しつつ、エリアを少し柔軟にとらえることも必要」、「他の候補地についても協議会でどう整理されているのか確認が必要」など、様々な意見が出された。

また、市長から、新病院が建設された際の現市民病院については、1次医療や1次救急医療を担う役割、リハビリ・療養機能を持つ病院とし、(仮称)総合健康センターとの連携が保たれるようにしたいとの意向が示された。

袋井駅南地区まちづくり 特別委員会より (8/27開催)

国と鉄道事業者による自由通路の整備及び管理に関するルール化については、当局から「本年6月末までにルール化を図る予定であったが、再度期限を延長し、協議をしている。最終決定は未定である。」との報告があった。

これに対し委員から、「最終的に、どのくらい遅れることになるのか。」との質問があり、当局から「現時点で1年半くらい遅れている。ルール化後の事業再開に向けたJR東海との協議機関を考えると2年以上おくれるのではないかと」の回答があった。

企業立地対策 特別委員会より (7/28開催)

にぎわい新都心まちづくり事業(国本地区)の状況について、地権者会の設立に向けた準備をしているが、設立まで至っていないとの報告があり、委員からは、「まず、地元を固め、課題や手順を整理し、全力で進めていただきたい。」との意見が出された。

また、企業誘致の現状については、「山科東工業団地」を平成21年3月の分譲を目指して工事中であり、今秋に公募要項を定め公募していきたいとの報告があった。

12月定例会のお知らせ・意見書 ほか

意見書(要旨)

介護労働者の待遇改善を求める意見書

介護労働者は、崇高な仕事にもかかわらず、低賃金、長時間労働で働いている。その厳しい労働環境から離職率も高く、待遇改善が急務となっている。

介護に携わる人たちがいなくなれば介護保険制度も立ち行かなくなり、まさに制度の根幹を揺るがす問題である。

よって、国においては、介護に携わる人たちの労働条件や福利厚生の上昇に努めるとともに、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 全労働者の平均を大きく下回る給与水準の実態を職種や勤務形態ごとに把握し、低賃金の原因とその是正策を早急に検討すること。
2. 労働環境の整備やキャリアアップの仕組みの構築など早急な取り組みを進めるとともに、福祉人材確保指針の実現を図ること。
3. 小規模事業者などにおいても、職場定着のための取り組み支援など介護労働者の待遇改善のための総合的な取り組みを進めること。

衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あてに提出しました。

12月市議会定例会は次のとおり行う予定です。

【場 所】市役所5階議場または各委員会室

【時 間】午前9時から(最終日については、午後1時30分からを予定しています。)

【日 程】12月 2日(火) 開会、議案の説明
 8日(月) 市政に対する一般質問
 9日(火) 市政に対する一般質問
 10日(水) 市政に対する一般質問
 11日(木) 議案の審査(常任委員会)
 12日(金) 議案の審査(常任委員会)
 19日(金) 委員長報告～採決、閉会

あなたも議会を傍聴してみませんか



当日、受付をしますので、市役所5階の議会事務局までお越しください。

議場のバリアフリー化を目指し、段差解消機及び車イス優先の傍聴スペースを設置しています。また、耳の聞こえにくい方には、赤外線補聴システムを利用した補聴器を用意しています。

足の不自由な方、妊婦の方なども段差解消機を利用し傍聴席へ入れます。赤外線補聴システム、段差解消機をご利用の際には、議会事務局へ声をおかけください。

市ホームページへアクセス!

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

市議会のライブ中継を行っています



インターネット中継ページ

より開かれた市議会を目指し、定例会、臨時会の本会議ライブ中継を行っており、市議会ホームページでご覧いただけます。なお、市ホームページからインターネット中継ページへの移動方法は右のとおりです。



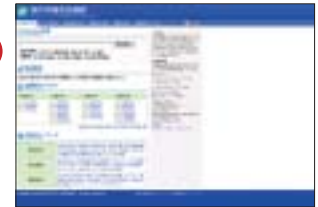
クリック!



クリック!

クリック!

会議録が検索できます



会議録検索ページ

本会議の会議録が、キーワードなどを入力することにより、見たい箇所が簡単に検索できます。なお、市ホームページから会議録検索ページへの移動方法は左のとおりです。

ふくろい
市議会
だより

NO.18

発行 / 静岡県袋井市議会
発行日 / 平成20年11月1日

〒437-8666 袋井市新屋1丁目1番地の1
TEL.(0538)44-3143(直通) FAX.(0538)44-3148
ホームページ <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
メールアドレス gikai@city.fukuroi.shizuoka.jp



ソイインキ(大豆油インキ)を使用しています。

年賀状



公職選挙法により、議員は答礼(返信)として自筆で書く以外に年賀状等の時候のあいさつ状を出すことが禁止されています。市民の皆様方のご理解をお願い申し上げます。

編集後記

この「市議会だより」、こういふ中身、視点構成で、など忌憚(きたん)のない意見をお寄せいただき、少しでもマンネリを脱していけたら幸いです。